



学校紹介 ～その51～

生活体験発表会

7月9日(水)に生活体験発表会を実施しました。クラス代表の生徒たちは4年間の学校生活の中で「自分がいかに変化したか」、「どのように目標を定め、その実現に向け取り組んできたか」など、熱く語ってくれました。



この日最優秀賞、優秀賞に選ばれた2名は、9月13日(土)にスワンホールで実施される「阪神丹有地区大会」に出場することになります。

夏休みは県大会目指して特訓です。

サマー講座について

台風8号の影響が心配されましたが、担当者の日頃の行いがよほど良かったのか(?), サマー講座の初日「もっと“伊丹”を知ろう♪～荒木村重を見つめて～」を無事実施することができました。



池尻という地名の由来や、天王寺川と四天王寺との関係など、中畔先生(伊丹市教育委員会)のお話は興味深いものばかり。地域の皆さんも納得の様子でした。

庄巻は信長と村重の有名な饅頭のやりとりや、官兵衛が幽閉される場面を演じた寸劇。演劇部のみんなは猛練習の甲斐あって、受講者の皆さんから温かい拍手をいただきました。



サマー講座2日目は「もっともっと“伊丹”を知るバスツアー～荒木村重・黒田官兵衛を訪ねて～」です。

この日は昆陽寺の万波様のご厚意で、秘仏「薬師如来像」を公開していただき、昆陽寺の歴史についても解説していただきました。



有岡城跡では、石垣に墓石が使われていることや、侍町と町屋を隔てるお堀が現「ニトリ」の場所にあったことなど、昨日にもまして興味深いお話の数々。中畔先生のお話を受講生のみならず、たまたま近くを通りかかった人々も足を止めて聞き入っていました。



☞学校評議員会・学校関係者評価委員会

7月14日(月)に学校評議員・学校関係者評価委員会を開催しました。

今年度の重点目標は

- (1) 個に応じた指導のさらなる徹底と、学び続ける姿勢・問題解決能力を育成し、全生徒が誇りを持って卒業していけるよう学校生活を充実させる。
- (2) 基本的な生活習慣、道徳観、倫理観等の確立を図るとともに、自尊心を高め、健全な規範意識やマナー意識・社会性を育くむ。
- (3) 閉校に向けての準備を進めながら、家庭や地域社会との連携を密にし、地域に愛され記憶に残る学校づくりを推進する。

です。

最後の1年、総力を挙げて取り組んでいきたいと思っています。

☞1学期終業式

7月18日(金)に1学期終業式を行いました。



式後にはバドミントン部、バスケットボール部、商業関係の検定合格者に対する表彰式が実施されました。

☞収穫しました

地域と学校の農作業でキュウリとインゲンが収穫できました。

写真はそのごく一部。キュウリは少し油断すると「瓜」のように大きくなって……。



夏の間は水やりも一苦勞。生徒だけではなく、校長をはじめ担当の教員でフル回転です。

今年はカボチャのできが今ひとつのようですが、サツマイモは葉を青々と茂らせています。

秋の収穫が楽しみです。



7月の行事予定

- 7月25日(金) ……グループ面接会
(8月1日まで)
- 28日(月) ……カウンセリング
職員研修会



8月の行事予定

- 8月 1日(金) ……グループ面接会
(7月25日から)
- 21日(木)
～25日(月) ……生徒校舎内立ち入り禁止
(阪神昆陽高等学校Ⅲ期入試)
- 26日(火)
～28日(木) ……就職・進学面接会



編集後記

梅雨明けの声とともに、列島は夏本番。この暑さの中ではあのうっとうしかった雨でさえ、少し恋しく思えてくるから不思議です。

梅雨は「卯の花腐し(くたし)」とも呼ばれるほど、日本人にとっては疎ましい季節。“白く華やかな花卉を腐らせる”とは、その憎々しい思いが伝わってくるようです。

古文の世界では、このように花鳥風月の情趣を解する人を「心ある人」と表現します。差し詰めエアコンの利いた室内で、スマホやパソコンなど、文字通り「心ない」ものに囲まれている現代人は、「心なき人」なのかもしれません。

梅雨を憂え、夏を楽しみ、秋を待つ心を持ちたいもの、と思いつつも、酷暑の中では「アツ」しか口をつけて出ない、「心なき」私なのであります。

